

## 第4回 定例会

## 一般会計補正予算など15件を原案可決・同意

令和7年第4回定例会は12月2日から12月18日までの会期で開催されました。定例会初日には、海老名市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定、令和7年度一般会計補正予算（第6号）ほか3特別会計の補正予算など14件が提案され、この中の6件が委員会へ付託されました。また、最終日には市長から一般会計補正予算（第7号）が提案されました。提案された全ての案件の件名および審議結果は、11面「令和7年第4回定例会の会議結果」をご覧ください。

## 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

この条例は、通称こども誰でも通園制度を開始するために必要な条例で、賛成多数で可決されました。

こども誰でも通園制度は、0歳6カ月～3歳未満で保育所などに通っていない子どもを対象に、保護者の就労や出産などの有無にかかわらず、保育施設を月に一定時間利用できる、子どもの育ちを応援する新たな通園制度で、令和8年度から全国の自治体で実施されます。

文教社会常任委員会での審査の概要は次のとおりです。

**問** 開始までのスケジュールについて伺います。

**答** 令和7年12月中に国から給付費などが公表される予定で、保育事業者が給付を受ける基準や利用料などを令和8年3月に条例化する予定です。制度の周知や国が準備する利用申請、認定などを行う総合支援システムの導入など円滑なスタートに向けた体制整備をしてまいります。

**問** 本市の実施方針や取り組み状況などを伺います。

**答** 待機児童の解消に至っていない中で、市内の既存施設には対象の子どもを受け入れる余裕がありませんので、現在、市立中新田保育園に専用の部屋と専任保育士を配置して、6名の定員を午前と午後に分けて1日12枠を受け入れる予定にしています。

**問** どの程度のニーズがあるか調査などはしましたか。  
**答** まず1園で始めて、ニーズを見たいと思います。

## 一般会計補正予算（第6号）

定例会初日に提案された一般会計補正予算（第6号）では▽法人市民税法人税割の減額▽児童保育クラブへの補助金の増額▽集出荷車両の更新に対する農業振興助成事業費の増額などの予算が計上され、賛成多数で原案可決されました。予算決算常任委員会に付託された補正予算（第6号）の審査の概要は次のとおりです。

## 総務分科会

**問** 歳入の法人市民税法人税割が減額となった要因と、減収分への対応について伺います。

**答** 物価高騰による経費の増加や円安の影響などにより、企業収益が思うように伸びなかったことが考えられます。減収分については、基金の積極的かつ機動的な活用を図ることで市民サービスの向上に努めたいと考えています。

## 文教社会分科会

**問** 高齢者予防接種事業費を増額する理由を伺います。

**答** 带状疱疹ワクチンが令和7年度から定期接種化され、これまでの任意接種より安価で接種できるようになったこと、加えて定期接種の初年度としてさまざまなメディアで取り上げられたため、接種件数が伸びたと考えています。  
**問** 増額する特定不妊治療先進医療費の内容を伺います。

**答** 1回の治療周期でかかった先進医療の費用に対して5万円を上限に助成しています。保険適用と併用した先進医療に対する助成であるため、助成回数は保険が使用できる回数としており、40歳未満は6回まで、40歳～43歳未満は3回までとしています。

**問** 児童保育クラブについて、補正予算を計上した新設の状況、現在の利用状況、今後の見通しについて伺います。

**答** 今泉小、有鹿小、大谷小の各小学校区に1カ所ずつ今年度内に開設の予定です。現在、市内の児童保育クラブは71事業所、登録者は約2300名です。いわゆる待機児童はゼロで、当面、待機児童は生じない見通しですが、今後新規開設への支援や各クラブと調整を行い、待機児童が発生しないよう努めてまいります。

## 経済建設分科会

**問** 農業振興助成事業費の増額理由を伺います。

**答** 今年度限りの事業として実施している集出荷車両更新事業では、車両の排気量ごとに補助金の上限額を定めていますが、当初の想定よりも大型の車両に対する相談が多く、当初予算額を上回るため増額するものです。

**問** 道路用地購入事業費の減額の内容を伺います。

**答** 平成18年度から行っている横須賀水道路の用地取得事業を今年度で完了させるため増額します。また、中新田地内の市道403号線交差点改良事業は、交通管理者との協議に想定以上の時間を要したことなどから今年度中の執行が困難になったため減額いたします。両事業の補正予算額をトータルすると減額になるものです。

## 副市長の選任と教育委員会委員の任命に同意

定例会初日、現副市長の柳田理恵氏、現教育委員会委員の海野望氏が令和7年12月に任期満了を迎えるに当たり、この2氏を再任することに対し、副市長については賛成多数で、教育委員会委員については全員賛成で同意しました。副市長と教育委員会委員の任期は4年です。